

沖縄市(九州・沖縄ブロック)

【計画期間 平成28年4月～33年3月】

・戦前は農村地帯であったが、米軍基地の門前町として商業地区が発達。国際色豊かな街並みと、音楽や伝統芸能が盛んな独自の文化を形成。
 ・スポーツに係る施設が充実し、スポーツ交流のまちづくりを目指している。
 ・人口139,315人(平成27年国勢調査) 面積49Km²

【前計画の概要】

- 「胡屋地区リノベーション事業」の実施による新たな魅力ある店舗の新規出店や「胡屋地区商店街商業環境整備事業」によるアーケード改修等により、商店街のイメージアップを図った。
- 「プロムナードコンサート事業」や「沖縄国際アジア音楽祭」等の音楽イベントをコザ・ミュージックタウンを中心に継続的に展開し「音楽のまち沖縄市」のイメージを県内外に広く発信した。
- コザ運動公園における体育館や野球場の建て替え等により、中心市街地内の都市福利施設の充実を図った。

(計画期間:平成22年4月～平成28年3月)

【中心市街地の変化】

- 新規顧客の誘客等、事業実施による一定の効果が得られた。
- 交流人口の増加等、賑わいの創出に効果がみられた。
- 当初の見込みを大きく上回る都市福利施設の利用実績があった。

【目指す中心市街地像】

**「住みたい・訪れたい魅力あふれるコザのまち」
 ～来街者・居住者が集う持続可能な交流街へ～**

コザの歴史的、文化的資源等の既存ストックを活かし、商業・観光・スポーツ・雇用・教育等の更なる複合的な交流街への機能転換の促進を図る。

まちなか交流の促進によるにぎわいの創造

- 【主要事業】
- ・(仮称)青年エイサー会館整備事業
 - ・沖繩こどもの国整備事業
 - ・音のページェント事業
 - ・商店街再生チャレンジショップ事業
 - ・多目的アリーナ整備事業
 - ・エイサーのまち推進事業
 - ・音楽によるまちづくり事業
 - ・沖縄市中心市街地循環バス事業
 - など

■前計画の目標

目標	指標	基準値(H21)	目標値(H27)	最新値(H26)
コザ文化を基調としたまちなか交流の促進によるにぎわいの創造	歩行者通行量(休日)	5,964人/日	6,302人/日	8,866人/日
中心市街地全体としての付加価値の向上による生活環境の改善	都市福利施設の年間利用者数	907,457人/年(H20)	1,021,057人/年	1,250,099人/年

■新計画の目標

目標	指標	基準値(H26)	目標値(H32)
まちなか交流の促進によるにぎわいの創造	歩行者通行量(休日)	8,866人/日	9,380人/日
	観光関連施設の入込客数	448,961人/年	683,207人/年
中心市街地全体としての付加価値の向上による生活環境の改善	都市福利施設の年間利用者数	829,808人/年	867,308人/年
	居住人口の増減率	▲5.6%	▲4.4%

中心市街地全体としての付加価値の向上による生活環境の改善

- 【主要事業】
- ・(仮称)雇用促進施設等整備事業
 - ・山里第一地区第一種市街地再開発事業
 - ・中心市街地共同住宅整備促進事業
 - ・ファミリーサポートセンター運営事業
 - ・図書館建設推進事業
 - ・安慶田市営住宅建替え事業
 - ・安慶田地区土地区画整理事業
 - など

沖縄市中心市街地活性化基本計画の事業概要

まちなか交流の促進によるにぎわいの創造

①多目的アリーナ整備事業

滞在型観光の大きな吸引力として、全国的なイベント等が誘致可能な収容人数1万人規模の多目的アリーナをまちなかに建設する。



①

②沖縄こどもの国整備事業

沖縄県唯一の動物園を有する沖縄こどもの国において、計画的かつ戦略的に整備するための新たな施設整備計画を策定し、計画に基づき施設整備を行うことで、日本ユニークな施設として整備拡充し観光客の拡大を図る。



②

○沖縄市中心市街地循環バス事業

中心市街地の中心拠点となるエリアにおいて、コザ運動公園や市民会館、こどもの国及びミュージックタウン等の拠点施設を結ぶ交通機能として、中心市街地循環バスを整備する。

③(仮称)青年エイサー会館整備事業

文化遺産である「エイサー」が鑑賞できる演舞場、観客席、体験施設等を、集客施設であるコザミュージックタウン内に整備する。

○エイサーのまち推進事業

「エイサーのまち沖縄市」として地域資源である伝統文化のエイサーを積極的に活用し、イベントの実施体制・計画等の効果的なあり方を図るとともに、次世代の育成に結びつけるなどエイサーによるまちづくりを推進するための事業を推進する。



③

中心市街地全体としての付加価値の向上による生活環境の改善

④山里第一地区第一種市街地再開発事業

老朽化した住宅・商店を新たな拠点として再整備する。基盤整備や土地の高度利用を行い、住宅や医療施設等を整備し、山里地区における賑わい再生を図る。



④

⑤図書館建設推進事業

複合商業施設「コリンザ」を改修・用途変更し、市立図書館を移転・整備すると同時に、必要な資料の購入や新たな図書システムを導入する。



⑤、⑥

⑥(仮称)雇用促進施設等整備事業

複合商業施設「コリンザ」を改修・用途変更し、雇用促進施設等の業務機能を強化する。

⑦安慶田市営住宅建替え事業

建築後40余年が経過し老朽化が著しい市営安慶田団地を建替える。

